桜友会報

第12号
2016.8.1

昭和女子大学附属昭和小学校同窓会
「桜友会」
〒154-8533
東京都世田谷区太子堂1丁目7番57号

9月25日（日）　桜友会開催

カメラを通した昭和初等部の歴史

「人見楠郎先生　生誕１００年」

２０１６年度の桜友会（同窓会）を9月25日（日曜日）に開催します。

今年は初等部の父とも言える人見楠郎先生の生誕１００年です。総会では「人見楠郎先生と昭和っ子」として座談会を企画しました。

座談会には歴代校長・桜友会メンバーだけでなく、長い間専属カメラマンとして昭和っ子を撮り続けた南スタジオの南社長にもご参加いただき、思い出話をお聞きする予定です。

懇親会では、初等部時代を思い出して「学園の歌」を大いに歌いたいと思っています。「学園の歌」ベストテンを桜友会会員の皆さんに事前に選曲いただきたく思っていますので、ご協力よろしくお願いします。

桜友会は同窓生が一同に会する機会です。同じ時期に学び遊んだ同期生だけでなく、上級生下級生、そして恩師に元気な姿を見せる機会です。多くの会員の参加をお待ちしています。

尚、今回は中高校生の参加費を無料とさせて頂きました。中高校生の皆さんがお誘いあわせの上ご参加されること、お待ちしております。

学年幹事の方へのお願い：是非、同期会・クラス会の同日開催を企画するなど、多くの方が参加されるようご協力お願いします。

日　時　9月25日（日）11時～14時30分
会　場　昭和女子大学学園本部館 3階大会議室
参加費　一般　３０００円
大学生・大学院生　２０００円
中高校生　無料
（当日、受付でお支払い下さい）
参加申し込み　同封のハガキで、9月4日までにご返送お願いします。

ホームページご覧ください

◎アドレス　http://showa-ohyukai.jp
◎検索「昭和小学校　桜友会」
◎QRコード

ホームページには、初等部行事、同窓会イベント等のお知らせを掲載します。

また会員が計画する、クラス会、同期会のお知らせ等を掲載します。掲載ご希望の方は、次の連絡先に、お申し込みください。

住所、電話、メールアドレス、氏名等の変更、その他も、次の連絡先にお願いします。

◎**連絡先**
メールアドレス：ohyu@swu.ac.jp
FAX番号：03-3487-6850

年会費納入のお願い

毎年、２０００円の会費納入をお願いしております。郵便振替用紙を同封しておりますのでご利用ください（手数料のご負担をお願いしております）。

お名前、住所、Eメールアドレスのほか会員番号もご記入ください（会員番号はお送りした封筒宛名の下にある3から始まる9桁の数字です）。

事務作業簡略化のため、すでに今年度分を収めている方にも、振替用紙を同封しております。また、以前複数年分を納入いただき、何年度分まで納めているか不明な方は、電子メールまたはファックスで事務局までお問い合わせください。

尚、事務の繁雑さを避けるため、過ぎた年の会費は徴収しておりません。

「学年幹事会」ご存知ですか

11回生・大野　あや子

5月8日（日）午前11時から学園本部館大会議室で第7回学年幹事会を開催しました。

住所・氏名がわかっている幹事総数102名にご案内を差し上げ、返信63通、出席29名の参加を頂きました。1回生から51回生までの幅広い参加となりました。

今年度から会長初め役員が新しくなり、役員プロフィールを作成配布し、自己紹介をしました。

学年幹事の方々には、それぞれの学年の現状をお話しいただきました。

年に一度同窓会を開いている学年、恩師の先生を中心に旅行に出かけている学年、子育てや介護などでなかなか集まれない学年、40歳、50歳、60歳の節目を機に同窓会を計画している学年。これからも活発に交流し、同級生同士声を掛けあい、集まる機会を作り、そして少しでも多くの方が総会に出席していただけるようにという思いを強くしました。

また、総会・昭和祭でのバザー・会報について、グループごとに話し合いをしていただき、実りの多い幹事会を過ごすことが出来ました。沢山のご意見・ご提案を今後の活動に活かし、よりよい桜友会を目指したいと思います。

幹事会後の懇親会では、初等部小泉校長先生、柴田副校長先生にお越しいただき、幹事の方々の親睦を深めました。

学年幹事の役割は、同級生の住所などを把握して、同窓会事務局とのパイプ役になっていただくこと。そして、よりよい桜友会活動ができるように、色々なご意見やご提案を頂くことです。卒業したての頃は、新しい学校生活の中で、新しい友達ができ、小学校の同級生と会うことが時間的にも少なくなり、疎遠になってしまい、時間が過ぎて行ってしまいます。「どこで何をしているんだろう」「会いたいけど手段がない」というとき、桜友会ホームページを覗いてみてください。また、年1回発行される「桜友会会報」を読んでください。積極的にクラス会や同期会を開きたいと思ったら、是非学年幹事を引き受けてください。

これからも1回生から新卒業生まで、学年幹事会を通して、よりよい桜友会を目指したいと思います。

昭和っ子の運動会に桜友会ブース

18回生・小薗江　園香

5月28日（土）日差しも優しく爽やかな風、まさに運動会日和。子ども達の元気な声とともに、昭和っ子の運動会が開催されました。

桜友会では例年同様、初等部の仲良し像の前にブースを設置し、お茶の配布をいたしました。

「友達に会いに来たの」「テスト中だけど来た！」とか「去年は六年生だったけど、今年はお茶がもらえた！」という中高生や、子ども達の観戦の合間をぬって卒業生保護者の方々、お子さんを連れて久々に母校を訪ねたという見学の方等、合計で104名の同窓生が来場され、後輩児童たちの活躍を懐かしく見学しました。

会長就任のご挨拶

桜友会会長 **平原 史樹**

２０１６年４月より桜友会会長に就任しました平原史樹です。すでに創立60年を過ぎた本校は多くの卒業生を社会へ送りだし、みなさん、ご家庭で大活躍され、また各方面で活動されています。多くのご活躍をされている諸兄、諸姉のなか、大役を仰せつかり大変光栄に存じます。今後は微力ながら本校の発展、また卒業生のなお一層のご活躍の一助となるよう尽力いたしますのでよろしくお願い申しあげます。

私は、昭和39年ちょうど東京でオリンピックが開かれた年に卒業しました。第６回生となります。入学した１９５８年に人見園吉先生からいただいた桜の苗木を当時住んでいた地に植えましたが、今は立派な名所桜の巨木となり毎年４月に現在は公園になった同じ場所で満開の宴に使われております。月日の過ぎるのは早いもので、その後医師となり、市中の一般病院、大学病院などで働き、現在は国立病院機構横浜医療センターの病院長となって現役で働いております。

小学校は６年間、最も多くの感性と人格を形成する大切な時期で、素晴らしい仲間たちと過ごした６年間はその後の人生の大きな支えとなってまいりました。卒業生の多くも、みなこの昭和の学び舎、恩師を大切にして、ともに育った仲間たちと様々な形で縁を持ち、つないでいるものと思います。社会に出れば社会の仕組みのなかでの交流、仲間ができますが、小学校という人生の原点ともいうべき巣立ちの場の仲間はこれらを超越した一生のものと思います。そのような大切さをともに共有し、これからの後輩たちへとたすきをつなぐ役でありたく思います。社会にでて、最も忙しく世界を飛び回る世代の方々にはやや縁遠くなりがちですが、会報などを通じてお便りを寄せていただくなど、どうか素朴に母校を愛し、恩師を大切にし、同じ仲間と絆を強め、後輩たちへのエールを送れる組織にしたく思っております。会員、卒業生すべてのみなさま、よろしくお願い申しあげます。

略歴：平原史樹（ひらはらふみき）

- １９６４年　昭和小学校卒業
- １９７１年　私立麻布高等学校卒業
- １９７７年　横浜市立大学医学部卒業
- １９７９年　横浜市立大学産科婦人科学教室入局
- １９８４年　米国メイヨークリニック留学
- １９９８年　横浜市立大学医学部教授（産婦人科学）
- ２０１２年　横浜市立大学附属病院長、大学理事
- ２０１６年　国立病院機構横浜医療センター院長

役員紹介

副会長　大石　恵津子（3回生）
「昭和30年入学、親子孫３代昭和に学び母港のような母校に感謝のご奉仕です」

副会長　大野　あや子（11回生）
「一人でも多くの同窓生が繋がる桜友会にしていきたいと思います」

名簿担当　原一恵（1回生）
「幼稚部から短期大学まで昭和で学び、現在は世田谷区のボランティアのお手伝い」

ホームページ　木村　志保（37回生）
「小学校から大学まで昭和で学び、公立小学校の教職を経て現在は昭和小学校の教員」

総会企画　柳　栄治郎（2回生）
「桜友会が未来永劫に発展するよう貢献していきたく思います」

総会企画　小薗江　奏波（50回生）
「昭和女子大歴文3年、上地流空手指導員３段、卒論テーマ〝八犬伝〟を研究中です」

会計　関口　明子（18回生）
「親子2代小泉校長先生の笑顔で育ちました。これからは恩返しです」

会計　渡辺　真貴（28回生）
「次世代への橋渡しとなるように、少しでもお役に立てればと思います」

監事　小川　薫（19回生）
「娘と2代に亘ってお世話になった初等部。懐かしい昭和学園で何かお手伝いさせて頂ければ幸いです」

監事　山口　俊行（20回生）
「監事5年目です。お役目上帳票監査を行いますが、ご理解いただきたくお願い申し上げます」

会報　鏑木　順治郎（4回生）
「若い人が集いやすい桜友会になるよう、ベストを尽します」

昭和祭 桜友会バザー報告

（昭和祭バザー実行委員長
３回生・大石　恵津子）

２０１５年11月14日・15日の昭和祭に際しまして、第４回桜友会バザーへのご理解とご協力に実行委員会といたしまして、心より御礼申し上げます。

今回の昭和祭は、これまで初等部２階のランチルーム入口へのアプローチとなっていた通路が、幼稚部新園舎完成に伴い非常時用備品等の保管スペースとなっていた間口３ｍ、奥行き13ｍという広い空間を桜友会バザーに開放していただきました。東側には大きな窓があるため大変明るく、空気の交換も可能なスペースです。天候が心配されましたが、朝の雨も開場時刻になると好転いたしました。すっかり定着した「桜友会バザー」目がけて初等部の子供たちがどっと押し寄せ、あっという間に行列になる程でした。大勢の初等部、幼稚部、そして父母の皆様にご来店いただき、また販売員としてご協力くださった桜友会会員の方々には、休憩時間をお取りいただく暇のない程の賑わいでした。今年は場所の広さも考慮して、昨年の１・５倍の商品を仕入れ、会員有志の方々から献品いただいた商品を、思い切った価格にて販売した結果、二日目にはほとんどの商品を販売することができ、二日間合計37万２１０円の総売上となりました。本売上金及びバザーのためにお寄せいただいた御寄付合計４万５０００円の合計41万５２１０円から商品仕入代金及び諸経費を差引いた残金額22万２８１１円を、初等部創立70周年の御祝金とすべく、積立金とさせていただきました。

２０１５年度の桜友会バザーは、これまでの経験を活かして、会員からの商品や寄付に加え、主として子供たちが喜びそうなくじ引き、役に立つおもちゃ、お菓子等を仕入れ、その他御寄付品（ミニカー等子供たちが楽しみにしている商品を１年間かけて収集・御寄付いただいたり、恒例となりました北海道キャラメル３５０箱等）、第一回目から参加いただいているレッスンバッグ、エプロンなどの手作り品（今年も初等部の男女制服をモチーフに刺繍したお弁当袋、衣類袋を特別に準備いただきました。）等が、所狭しと並びました。

準備の段階から当日の販売作業にも役員や会員の方々が、進んでご参加くださったという善意の結集が、会場の和やかな雰囲気を生み、好結果に結び付いたのだと思います。今回も初等部の父母会役員の方々とお話し合いをし、多大なご協力のもと準備を進めました。小泉初等部校長先生を初め、諸先生方、初等部父母会の皆様、様々な形でご参加いただいた会員、そして学園本部の皆様にはご理解とご協力を賜り、再びにぎやかな桜友会バザーを開催することができましたことを、心より御礼申し上げる次第でございます。

２０１６年度の桜友会バザーは、同じスペースで２０１５年までの経験を活かし、皆様からのご意見をいただきながら、更に「桜友会らしいバザー」を開催したいと思っております。桜友会の活動にご理解とご協力を賜りますよう、引き続きよろしくお願い申し上げます。

●2015年度（平成27年度）収支決算報告・平成28年度収支予算案

会計期間；2015年4月1日～2016年3月31日（予算案については2016年4月1日～2017年3月31日）

科目	予算	決算	差し引き	H28年度予算案	
収入の部				収入の部	摘要
入会金	872,000	872,000	0	872,000	
年会費/寄付	900,000	923,000	23,000	900,000	
総会・懇親会参加費	250,000	81,000	−169,000	200,000	
バザー売上・寄付等		405,742	405,742	200,000	
銀行利息/利子	1,500	1,861	361	1,500	
その他入金		50,774	50,774		
計（A）	2,023,500	2,334,377	310,877	2,173,500	
支出の部				支出の部	
会報（作成・発送）	700,000	660,096	39,904	700,000	
総会・懇親会参加費	450,000	235,864	214,136	450,000	
幹事会	30,000	7,630	22,370	30,000	
昭和祭・バザー・桜友会の部屋		244,590	−244,590	100,000	
ホームページWebサイト	250,000	225,072	24,928	180,000	
事業費	60,000	9592	50,408	250,000	昭和祭等
通信費	200,000	37,546	162,454	50,000	
事務費	100,000	5340	94,660	150,000	パソコン購入予定
会議費	40,000	32,246	7,754	50,000	
予備費	150,000		150,000	150,000	
計（B）	1,980,000	1,457,976	522,024	2,110,000	
当期収支差額（A-B=C）		876,401		63,500	
前年度繰越金（D）		8,018,780		8,895,181	
来年度繰越金（C+D）		8,895,181		8,958,681	

前年度繰越金		預金明細	
本会計	7,616,359	ゆうちょ銀行定額定期	2,001,085
60周年記念募金	402,421	ゆうちょ銀行通常預金	4,615,993
		みずほ銀行普通預金	1,691,914
		みずほ銀行普通預金	586,189
合計	8,018,780	合計	8,895,181

合計金額の内、500万円は記念事業積立金です

卒業生寄稿文

頑張った過程が財産に

31回生　米村　希美

この春、息子が昭和っ子の仲間入りをしました。姉と毎日楽しそうに通う姿を見て、親として、また保護者としてうれしく思います。

私の同級生たちも、それぞれ親になり、こども園や初等部にお子さんを入れ、保護者として戻ってきている人が多くなってきました。その同級生たちとよく話題になるのは、「初等部はすごく楽しかった」ということです。

もちろん沢山失敗し、怒られ、悔しい思いもしたと思うのですが、とにかく楽しかった印象なのです。東明学林や望秀学寮の思い出はもちろん、運動会、昭和祭、クリスマス子供会、総合学習……。

あげたらきりがないほど、一つ一つの行事のエピソードが鮮明に記憶に残っています。それだけ先生方が全身全霊で子供たちに向き合ってくれていたのだろうと感謝の気持ちでいっぱいです。

また日々の目の体操や学園歌も、何十年経っても体が覚えているから不思議です。小学校の6年間というのは、人生において色々なことを吸収する、いかに大切な時期なのか、改めて考えさせられます。

「初等部の良さ」は、日々の学校生活、沢山の行事に一生懸命取り組む姿勢だと思います。勉強だけでなく、運動、音楽、美術、友達関係など、どんなことにも心を込めて真剣に取り組む姿勢を学びました。

結果が必ずしも良くなくても、その頑張った過程が本当に財産になると、自分が大人になった今、心からそう思います。

今年は是非学年の同窓会を開いて、懐かしい先生方を囲みながら、思い出話に花を咲かせたいと考えています。

3組同窓会

50回生　落合　さづき

3月29日に担任の鈴木先生をお招きし、6年3組の卒業生10人、総勢11人で同窓会が開かれました。場所は渋谷で、お酒もありますが夕食会といった形でした。

最初は皆久しぶりで少し緊張気味だったものの、まずはお互いに自分の近状を報告しあい、会が始まりました。そのあとは懐かしい話の連発で、今だから話せることもあり笑顔が絶えませんでした。

また6年3組で作ったタイムカプセルを先生が持ってきてくださり、10年前の自分からの贈り物や手紙に各々反応し声を溢していました。10年たってもあまり変わらないねと、また集まれたらいいねと別れを惜しみつつ会は終了しました。

祝20歳

51回生　佐藤夏佳・関口桜子

左から関口桜子さん、佐藤夏佳さん

第51回生として卒業し、今年で8年となり私たちは成人を迎えます。現在は大学2年生となり、それぞれ留学や部活動、アルバイトなどに励んでいます。忙しく充実した日々を送る中で、なかなか卒業生全員が集まる機会はありませんが、初等部で開かれる行事などに顔を出し同窓生に再会すると当時の思い出がよみがえり懐かしい気持ちでいっぱいになります。なかでも毎年11月に開催される昭和祭では各クラスの研究発表やクラブ発表など楽しかった記憶が思い出されます。私たち自身吹奏楽部に所属していたこともあり、印象深い行事の一つでもあります。まだ幼かった私たちにとって休日の静まり返った校舎での強化練習は部員だけが味わうことのできる特別で貴重な時間でした。そこでの充実した経験が中高部に進学しても部活を続けようと思ったきっかけになりました。

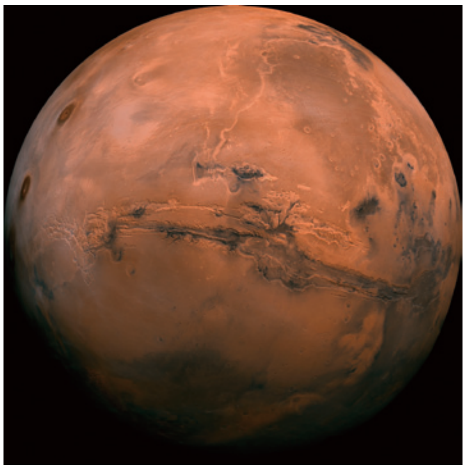
母校に帰り、初等部の玄関をくぐると真っ先に目に入るのは私たちの卒業制作である「さくら」です。この「さくら」はデジタル時計と初等部オリジナルカレンダーを施しており、昭和っ子たちに毎日目にしてほしいという願いが込められております。

私たちは今、将来の自分を見据え、様々な経験を重ねる毎日を過ごしています。生活を過ごす環境は違っていても、常に私たちの土台には初等部で培ったものがあります。人生の節目となる成人の年に、51回生皆で当時を楽しく振り返ることができるように、学生時代のうちにやりたいことに挑戦し続けたいと思います。

人類が火星に行ける日

～有人火星探査最前線～

22回生・会津大学　寺薗淳也



今年の前半、映画の世界では『オデッセイ』が大ヒットしました。マット・デイモン演じる宇宙飛行士が、火星に1人取り残され、それでも科学を武器に生き残ろうとするというストーリーでした。実はこの映画、アメリカ航空宇宙局（NASA）が全面協力しており、NASAの最新テクノロジーもかなり入っているのです。

有人火星探査、つまり、人間を火星に送り込むという計画は、いま世界が目指している究極の宇宙開発の目標です。人類はすでに他の天体…月に足を踏み入れたことがありますが、それはもう半世紀近く前の話です。それ以来、人類は他の天体どころか、地球の周りで「足踏み」しているとさえ言えるでしょう。そんな中、行ったことがない天体へ行くという目標は、人類にとっての好奇心を完璧に満たすものなのです。

しかし、言うは易く行うは難し、有人火星探査はそう簡単な話ではありません。

だいたい、月と比べて距離がまさに桁違いです。月は地球から38万キロ。それでも遠いのですが、火星は5月末に大接近があったときでさえ7500万キロ。想像もできない距離です。

火星は月に比べると地球に似ているようにみえます。映画『オデッセイ』をご覧になった方なら、空気も（薄いけど）あるし、水もうまくすれば得られそうだし、月よりは住みやすそうではないかと思われる方もいらっしゃるかもしれません。しかし、温度は平均してマイナス40度、空気は地球の100分の1という薄さであるだけでなく、空気があるために探査機が着陸するのは大変なのです。水にしてもこの温度では氷になっているでしょうし、そもそもどこにあるかもはっきりわかっていません。

そんな天体ですが、水も空気もあれば生命もいた…いや、いるのではないかということで、注目が集まっているのです。

アメリカ航空宇宙局（NASA）は、2030年代なかばに人間を火星に送り込む計画を進めています。しかし、それがもっと早まるかもしれません。アメリカの有力宇宙ベンチャー、スペースX社は、最近、2024年には火星に人を送ると発表しました。なんと、NASAよりも10年も早いのです。

また、有人火星探査を見据えて、火星探査の動きが活発になっています。中国は2020年に火星探査機を打ち上げると発表、アラブ首長国連邦（UAE）も初の火星探査機「アル・アマル」の2020年の打ち上げを準備しています。

2018年は今年よりもより近い火星大接近があります。これから先、火星と火星探査は見逃せません。

私も、こういった月や火星への探査を解説したサイト「月探査情報ステーション」（http://moonstation.jp）を運営しています。1人でも多くの方に、とかく難しいとされるこういった話をわかりやすく解説したいという思いで、18年にわたって続けてきました。もし機会がありましたら、皆様是非一度お立ち寄り下さい。

寺薗淳也先生略歴
麻布高校卒業後、名古屋大学、東京大学大学院と進まれ、1995年財団法人日本宇宙フォーラム入団。その後宇宙開発事業団を経て、現在は会津大学先端情報科学研究センターで准教授として活躍中。